

令和3年度 全国高等学校総合体育大会

第71回全国高等学校スケート競技

・アイスホッケー競技選手権大会

青森県実行委員会

第2回総会



日 時 令和4年3月14日(月)

第2回総会

議 事

第1号議案 事業報告（案）について

別紙（経過報告（案）、全国大会報告書（案））の通り提案する。

第2号議案 収支決算（案）について

別紙（収支決算書（案））の通り提案する。

[補足説明]

大会全体の経費が当初想定していた予算額より大幅に削減することができ、支出額が大幅に減となった。理由は以下のとおりである。

○借料および損料費

- ・予算だてした時点ではY Sアリーナ八戸、フラット八戸がまだオープンしておらず、長根パイピングリンク、南部山アイスアリーナより高く見積もったが、実際は安かった。
- ・盛運輸アリーナも三沢アイスアリーナ並に見積もったが、県営リンクということで、減免措置があり安くなった。
- ・簡素化のため八戸の開始式を八戸市公会堂からY Sアリーナ八戸に変更したため、会場費がかからなかった。
- ・当初見込みはスピード会場 250 万円、フィギュア会場 180 万円、ホッケー会場 320 万円、その他 100 万円の計 850 万円であったが、実際はスピード会場 180 万円、フィギュア会場 70 万円、ホッケー会場 170 万円、その他 70 万円の計 490 万円となった。

○賃金、諸手当、会議費、光熱水費、予備費

- ・人を雇わなかった。会議の多くがオンライン・書面開催となった。

当初予算はそれぞれ 15 万円、35 万円、10 万円、5 万円、15 万円の計 80 万円だったが 0 円となった。

○印刷製本費

- ・プログラムの印刷代として 120 万円の予算を見込んでいたが、100 万円未満で済んだ。
- ・ポスター、プログラム、報告書合わせて 220 万円の予算に対して 190 万円で終わった。

○無観客開催による経費の減

- ・観客用の案内看板等を作成しなかったため、広報にかかる費用がおさえられた。

[残金の処理]

支出額大幅減に対して、下記の対応により、収支を合わせ、残金を 0 円とする。

○開催市町補助金、県高体連助成金、全国高体連スケート専門部協力金

- ・八戸市から開催補助金として 150 万円の交付決定を受けたが、0 円で実績報告をする。

- ・南部町から開催補助金として10万円の交付予定だったが、請求しないこととする。
- ・青森市から交付を受けた開催地負担金20万円を全額返納する。
- ・青森県高体連から開催助成金として交付を受けた180万円を全額返納する。
- ・全国高体連スケート専門部から開催協力金として交付を受けた60万円のうち、287,867円を返納する。

第3号議案 収支決算承認の会長への委任について

監査を実施した後、収支決算承認を令和3年度全国高等学校総合体育大会第71回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会青森県実行委員会会長に委任することを提案する。

第4号議案 実行委員会の解散について

会則18条により、本会を令和4年3月31日をもって解散することについて提案する。

上記案件に対して、以下のサイトから回答をお願いします。

<https://forms.gle/nEN3nZXsGmAYZL5o6>

回答期限：令和4年3月22日（火）午前10時

総会の結果は3月23日に実行委員会ホームページで公開いたしますので、ご確認下さい。

http://aomoriskate.ec-net.jp/71skateinterhigh2022/00_competition/index.htm